

小学校第3学年 道徳科 学習構想案

日時 令和6年11月21日(木)

場所 生徒会室

指導者 教諭 江口 征史郎

1 学習構想

主題名	大好きなふるさと (内容項目C(16)伝統や文化の尊重, 国や郷土を愛する態度)	
ねらいと教材	(1) ねらい 山本くんの町に対する思いを基に、自分たちの町に対する思いを話し合う活動を通して、津奈木町にも多くのよさがあることに気づき、自分の郷土を愛する心情を育てる。 (2) 教材名 ここがいい 出典：「つなぐ～熊本の明日へ～ (熊本県教育委員会)」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	山本くんの町に対する思いを基に、自分たちの町に対する思いを話し合う活動を通して、自分たちの町のよさについて多面的・多角的に考えている。	自分の町のよさについて、これまでの学習経験や生活体験と関連付けて考えている。
目指す児童の姿		
友達との対話を通して、自分が住んでいる町の様々なよさに気付くことができる児童		
主題に迫る学習課題 (本時)		本主題で働かせる見方・考え方
津奈木町の「ここがいい」について考えよう。		郷土のよさについて多面的・多角的に考え、自分との関わりで考えながら、自己の生き方についての考えを深めていくこと。
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
各教科等	道徳科	体験活動等
<p>【社会】わたしたちの住んでいる市のようす 自分たちが住んでいるまちに関心をもち、地図を描いたり読んだりする活動を通して、身近な地域の様子を理解する。</p> <p>【社会】わたしたちのくらしとまちではたらく人々 地域の生産の仕事について、予想、見学、調査する活動を通して、生産の工夫を発信するCMやポスターを作る。</p>	<p>「ここがいい」(本時) C(16)伝統や文化の尊重, 国や郷土を愛する態度</p> <p>主題名 大好きなふるさと</p> <hr/> <p>「心をつないだ合言葉」 C(16)伝統や文化の尊重, 国や郷土を愛する態度</p> <p>主題名 わたしの大切な町</p>	<p>【総合的な学習の時間】 「津奈木の食のひみつをさがろう」 津奈木町でとれる海産物や農産物を調べ、町の特産物への関心を高める。</p> <p>「津奈木に受け継がれているものをさがろう」～海渡り～ 海運の安全を祈念する祠を守り続けた地域の人の思いに触れ、伝統を継承する行事に関わる経験を通して伝統文化への理解を深める。</p>

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所 (ねらいや指導内容についての教師の捉え方)

本主題は、第3学年及び第4学年の内容項目C(16)「伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度」を基にしたものである。我が国や郷土の伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国や郷土を愛する心をもつことに関するものである。

自分が生まれ育った郷土は、その後の人生を送る上で心のよりどころとなり、精神的な支えとなるものである。様々な体験を通して、地域に積極的に関わろうとする心情や態度を育てていくことは大切なことである。本時では、熊本地震を乗り越えた郷土に対する登場人物の思いに触れ、自分との関わりについて考えさせることで、郷土を愛する心情を児童に育むことができると考え、本主題を設定した。

本主題における系統		
小学校第2学年 内容項目C(16)(伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度) 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし, 国や郷土を愛する心をもつこと。 教材名「見つけたよ」 主題名「わたしのすむ町」	小学校第3学年 内容項目C(16)(伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度) 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし, 国や郷土を愛する心をもつこと。 教材名「ここがいい」 主題名「大好きなふるさと」	小学校第4学年 内容項目C(16)(伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度) 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし, 国や郷土を愛する心をもつこと。 教材名「ないものはない」 主題名「きょう土を愛する心」
児童の実態 (児童の学習状況や実態と教師の願い)		
■学習するにあたっての学級及び児童の様子		
略		
質問項目	略	
① 津奈木町が好きですか。		
略		
②津奈木町をおすすめするなら、どんなことをおすすめしますか？		
略		
■考察		
略		
教材の価値 (使用する教材の特質や具体的な活用方法)		
<p>本教材は、熊本地震で大きな被害を受けた益城町の小学生、山本くんが書いた詩「ここがいい」に込められた町への愛情を考えていくことを通して、ねらいに迫るものである。</p> <p>山本くんが書いた詩「ここがいい」は、郷土である益城町への愛情や誇りが伝わる詩である。地震で大きな被害を受けても「ここがいい」と言い切る山本くんの言葉から、町に対する深い愛情が伝わってくる。</p> <p>本教材を活用した授業では、山本くんと自分を重ね合わせた中心発問を行うことによって、郷土に対する児童の思いとその背景にあるこれまでの体験を引き出しながら、郷土を大切に思う心を育みたい。</p>		

3 指導に当たっての留意点

【①体験活動とつなげた導入・終末】

- 授業の導入場面では、社会科や総合的な学習の時間の学習を振り返り、これまでの体験活動の中で様々な津奈木町の人たちと出会ったことを想起させることで、児童の本時の主題に対する学習意欲を引き出したい。
- 授業の終末では、これまでの体験活動で出会った津奈木町に関わる様々な大人が語る「津奈木町のここがいい」の動画を流すことで、自分の住んでいる町への関心をさらに高められるようにする。

【②「考え、議論する道徳」となる場（ハートつなぎタイム）の設定】

- 登場人物と自分を重ねて考えたことについて、思考ツール（心情ものさし）を使って可視化し、友達との意見交流を通して町のよさについて考えられるようにする。

4 人権教育を通じて育てたい資質・能力について

- 能動的に傾聴し、思いや考えを伝え合うことができるようにする。(③技能的側面ウ)

5 本時の学習

(1) ねらい

山本くんの町に対する思いを基に、自分たちの町に対する思いを話し合う活動を通して、津奈木町にも多くのよさがあることに気付き、自分の郷土を愛する心情を育てる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◎中心発問◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	1 本時の学習課題を知る。 ○社会科や総合的な学習の時間の学習を振り返り、これまでに津奈木町の様々なよさを見つけてきたことを想起する。 ○「津奈木町のおすすめは建物だけかな？」	・社会科での見学の様子や総合的な学習の時間での写真を提示し、これまでの学習を確認する。 ・問題意識をもたせる補助発問を行う。
		【めあて】 津奈木町の「ここがいい」について考えよう。	
展開	30分	2 教材を読み、登場人物の気持ちや考えについて話し合う。 (1) 山本くんがどんな詩を書いたか想像する。 ○どんな詩を書いたのだろう。 ◇大変で辛い、早く家に帰りたい。 ◇協力してみんなで乗り越えたい。 (2) 詩の部分を読んで話し合う。 ○山本くんはどのようにして「ここがいい」「誇りだ」と言っているのだろう。 ◇建物は壊れたはずなのにどうして？ ◇町の人々が協力したり助け合ったりするところを誇りに思っていると思う。	・詩の直前までで範読を一度切り、山本くんの詩の内容を問いかける。 ・建物などの施設面だけではなく、復興に向かう人々の協力やお互いに助け合う地域の人々の心の温かさなど、様々な視点から山本くんの思いを想像し、故郷に対する深い愛情をおさえて中心発問に繋げる。
		◎今の自分は、どれくらい津奈木町のことを好きだと言えるかな。 ◇好きな気持ちはあるけど、理由を聞かれると答えるのが難しい。 ◇海渡りで出会った伝統を受け継ぐ人たちがかっこよかったから好き。 ◇町の自然や美味しい食べ物が好き。家族と海に釣りに行った時に、海がきれいだったし、たくさん魚が釣れて食べたらとても美味しかったから。	・山本君の故郷に対する思いを基に、自分の町への思いについて考えさせる。 ・思考ツール（心情ものさし）を使って考えたことを可視化し、目的意識をもった意見交流（ハートつなぎタイム）に繋げる。 ・意見交流の場面では、背景にある体験や思いを引き出す「質問言葉」を使いながら交流できるようにする。
		○みんなからたくさん出た津奈木町の良いところの中で「なるほど」と思った考えはある？ どうしてそう思ったの？ ◇美しい自然。わけは、自分も似た経験があってやっぱりそうだなと思った。 ◇友だちなど町に住む人。自分にはなかった考えでたしかにそうだなと思った。	・クラスで出し合った様々な意見について振り返り、始めに考えた自分の考えと繋げて本時の学習を捉えなおす補助発問をする。 ・全体での対話では、「いつ、どこで」などの視点で問い返すようにし、町のよさを語る背景にある経験や体験を通して感じた児童の思いを具体的に引き出すようにする。
終末	10分	3 学習を振り返る。 ○振り返りを書こう。 ◇友だちの考えを聞いて、自分の考えが広がり、津奈木町の好きなどが増えた。	・町に関わる様々な大人が考える「津奈木町のここがいい」の動画を視聴した後、振り返りを行う。 ・視点をもって振り返る。（これまでは・今日学習して・これからは）

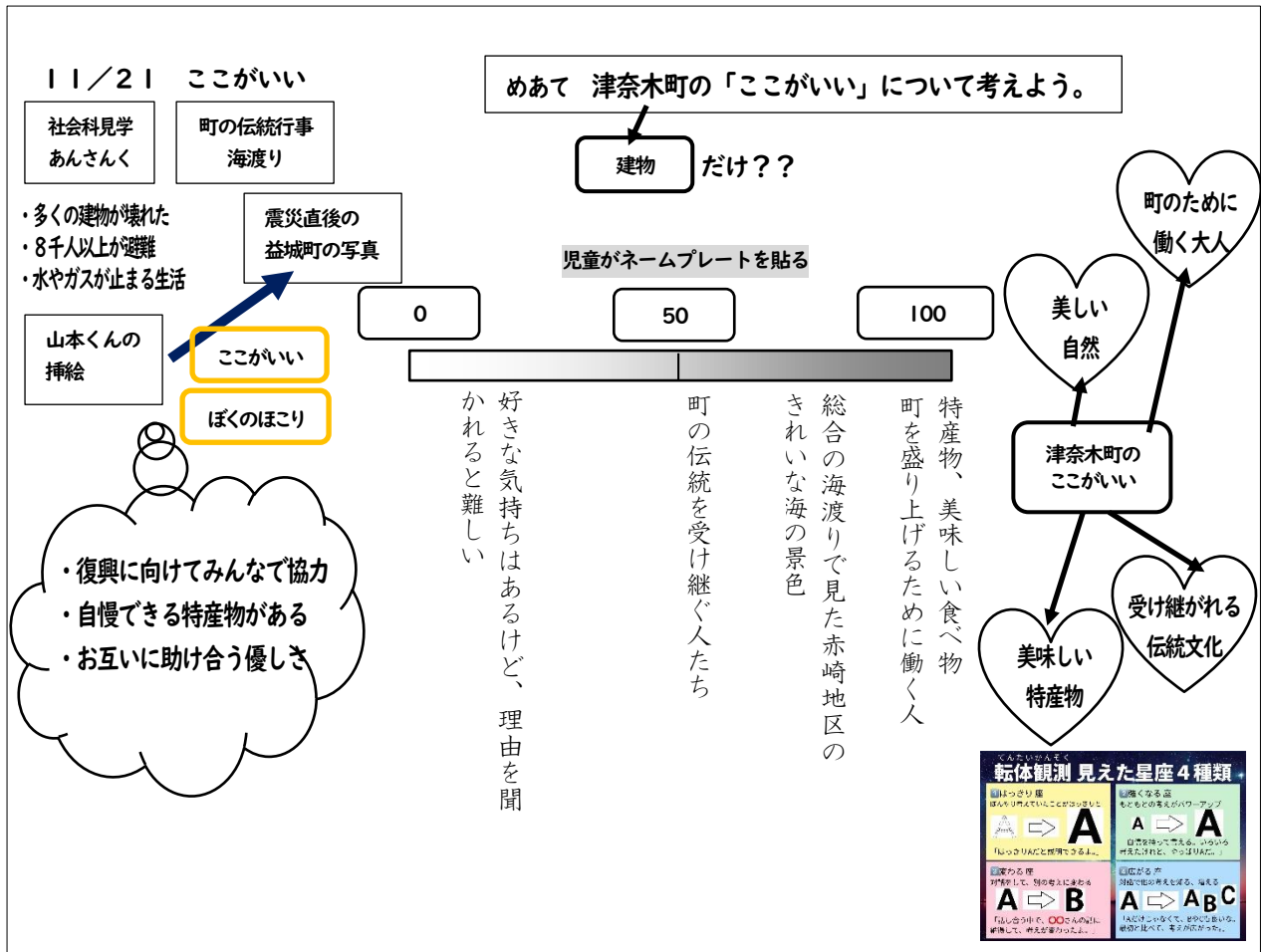
【評価の視点1】 山本くんの町に対する思いを基に、自分たちの町に対する思いを話し合う活動を通して、自分たちの町のよさについて多面的、多角的に考えている。

(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 自分の町のよさについて、これまでの学習経験や生活体験と関係付けて考えている。

(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】



【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

導入時：これまでの学習（社会科や総合的な学習の時間）の様子を提示する。

終末時：津奈木町に関わる様々な大人が考える「津奈木町のここがいい」の動画を流す。

【電子黒板】 1分程度の短い動画